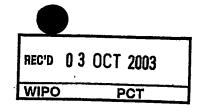
特 許 協 力 条 約



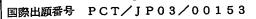
国際予備審査報告



(法第12条、法施行規則第56条) (PCT36条及びPCT規則70)

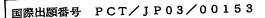
出願人又は代理人 の書類記号 2002-080629	今後の手続きについて	[は、国際予備審査報 IPEA/4] 	限告の送付通知(様式 L 6)を参照すること 	•			
国際出願番号 PCT/JP03/00153	国際出願日 (日.月.年) 10	. 01. 03	優先日 (日.月.年) 2:	2. 03. 02			
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. 7 C07F9/50, C07C45/50, 47/02, B01J31/24 // C07F15/00							
出願人(氏名又は名称) 株式会社クラレ							
				-04, ** 4++ 7			
1. 国際予備審査機関が作成したこの	国際予備審査報告を法	施行規則第57条(P	CT36条)の規定は	と使い送付する。			
2. この国際予備審査報告は、この表	紙を含めて全部で	3 ぺー	ジからなる。				
この国際予備審査報告には、	附属書類、つまり補正	されて、この報告の	基礎とされた及び/	又はこの国際予備審			
一 杏機関に対してした訂正を含	む明細書、請求の範囲	及ひ人又は凶風も称	付されている。				
(PCT規則70.16及びPCT この附属書類は、全部で	『実施細則第607号® ページであ	^{を飛り} る。					
		•					
3. この国際予備審査報告は、次の内	谷で点む。						
I X 国際予備審査報告の基礎							
Ⅱ □ 優先権							
Ⅲ							
IV							
V X PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるため							
の文献及び説明 VI □ ある種の引用文献							
VII 国際出願の不備							
□ 国際出願に対する意見							
•							
国際予備審査報告を作成した日							
国際予備審査の請求審を受理した日 29.07.03		国際予備番金報合・ 	09. 09. 03	3			
名称及びあて先		特許庁審査官(権	限のある職員)	4H 9049			
日本国特許庁 (IPEA/J 郵便番号100-891	P) 5	本堂裕司	n (n)				
東京都千代田区霞が関三丁目	 電話番号 03-	3581-1101	内線 3443				
1		1					





I. 国際予備審査報告の基礎							
1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条 (PCT14条)の規定に基づく命令に 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告番において「出願時」とし、本報告書には添付しない。 PCT規則70.16,70.17) [X] 出願時の国際出願書類							
X	出願時の国際	7山旗智知			•		
	明細書 明細書 明細書	第 第 第		_ ページ、 _ ページ、 _ ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書		
	請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲	第 第 第		_項、 _項、 _項、	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に 国際予備審査の請求告	基づき補正されたもの と共に提出されたもの	
	請求の範囲	第				_ 付の 書簡と共に提出されたもの	
	図面 図面 図面	第 第 第		ページ/図、 ページ/図、 ページ/図、 _	出願時に提出されたも 国際予備審査の請求書	の と共に提出されたもの _ 付の書簡と共に提出されたもの	
	明細帯の配列	列表の部分 第 列表の部分 第 列表の部分 第		・ _ページ、 _ページ、 _ページ、 _	出願時に提出されたも 国際予備審査の請求番 	の と共に提出されたもの _ 付の書簡と共に提出されたもの	
2. 」	上記の出願書	額の言語は、下	記に示す場合を	と除くほか、こ	の国際出願の言語である	•	
i							
_	上記の審類は、	下記の官語で		苗でめ	ତ,		
					う翻訳文の言語		
			いう国際公開の記		とみに のたいる 郷銀 文の言	全既	
1					とは55.3にいう翻訳文の1		
3. 3	この国際出願	は、ヌクレオラ	チド又はアミノ酢	酸配列を含んで	おり、次の配列表に基づ	き国際予備審査報告を行った。	
	□ この国際	出願に含まれ	る書面による配	列表	•		
□ この国際出願に含まれる書面による配列表 □ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表							
□ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表							
──							
□ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述							
書の提出があった □ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出 があった。							
4		下記の魯類が肖					
	明細書	第		ページ 項		•	
	請求の範囲 図面	第 図面の第		 ^	- ジノ図		
4	, , , , ,	_					
5. 二 この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1. における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)							
		•					





v.	新規性、進歩性又は産業上の利用可能 文献及び説明	性についての法第12条(PCT	35条(2)) に定める見解、モ	れを扱付ける
1.	見解			
	新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1~26	有 無
	進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1~26	有 無
	産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1~26	有 無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求の範囲1~10に記載された特定のビスホスフィン及びその製造方法は、国際 調査報告で引用された文献又は当該発明に関連があると認められるいずれの文献にも 記載されておらず、かつ、当業者にとって自明なものでもない。

請求の範囲11~26に記載された特定の金属錯体及びその触媒用途は、国際調査報告で引用された文献又は当該発明に関連があると認められるいずれの文献にも記載されておらず、かつ、当業者にとって自明なものでもない。